



2020年11月4日

各位

会社名 東海カーボン株式会社
代表者名 代表取締役社長 長坂 一
(コード番号 5301 東証第一部)
問合せ先 財務経理部長 佐藤 昭彦
(TEL. 03-3746-5155)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第3四半期におきまして、下記のとおり災害による損失を特別損失として計上するとともに、2020年8月4日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

令和2年7月豪雨災害により、当社田ノ浦工場（熊本県葦北郡芦北町）において、建物及び設備等の固定資産及び棚卸資産の一部に被害を受けたほか、一時的に操業を停止したことなどにより、現時点で合理的に見積もることが出来る損失として446百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、災害資産の原状回復費等の概算額も含めて通期では15億円の災害による損失が発生する見込みとなりました。一方、被災した資産の大半には保険を付しており、10億円の損害保険金の受け取りが見込まれます。これらの災害による損失及び受取保険金については、第4四半期において特別損益に計上を行う予定です。

2. 業績予想の修正について

2020年12月期通期連結業績予想値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	190,000	6,100	5,000	1,000	4.69
今回修正予想(B)	190,000	6,100	5,000	500	2.35
増減額(B-A)	—	—	—	△500	—
増減率(%)	—	—	—	△50.0	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	262,028	54,344	52,986	31,994	150.10

3. 修正の理由

上記のとおり、2020年12月期の通期連結業績予想における売上高、営業利益及び経常利益は前回発表予想の水準を概ね維持する見通しですが、親会社株主に帰属する当期純利益については、災害による損失及び受取保険金を特別損益に織り込んだ結果、前回予想を下回る見込みとなりました。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上